

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



2 609 141 045

2 609 141 045 (13.08)

レーザー距離計 GLM 100C 型



取扱説明書（保証書）

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
させていただきます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー商品全般についての注意事項	2
レーザー距離計についての注意事項	8
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	11
●本製品について	
用途	12
各部の名称	12
仕様	14
標準付属品	16
●使い方	
バッテリーを準備する	17
作業する	19
他の機器へのデータ転送	44
レーザー距離計の精度チェック	46
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	48
修理を依頼するときは	53
●お手入れと保管	
廃棄	54
使用済みバッテリーの取り外し	55

ご安全上の注意

のリサイクルのために

つ本製品について

使い方

困ったときは

保お手入れと保管

付録

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー商品全般についての注意事項

ここでは、バッテリー商品全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたレーザー距離計には、当てはまらない項目も含まれています。

危険

ご安全
注意の
意の

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

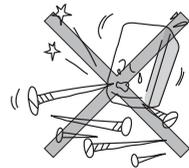


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警告

1. 正しく充電してください。

- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が5℃未満、または温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー商品、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



5. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。

6. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびポッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

7. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
8. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、バッテリー商品や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー商品やバッテリーを、温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 作業に合ったバッテリー商品を使用してください。

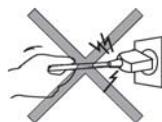
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

5. バッテリー商品は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

6. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



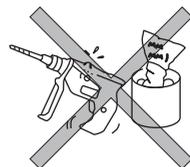
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー商品を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



8. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 部品交換や修理は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー商品は、使用しないでください。



9. バッテリー商品の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー商品、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー商品が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

レーザー距離計についての注意事項

バッテリー商品全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、レーザー距離計をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. レーザー光を人や動物に向けたり、直接のぞいたりしないでください。
 - ◆ 本機はレーザークラス 2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
2. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
3. 取扱説明書およびポッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリ以外は使用しないでください。
4. 使用するバッテリーは、ポッシュ指定のものを使用してください。
 - ◆ 指定以外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因となります。
5. レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。
 - ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。
6. レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
 - ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。
7. 本機を分解・改造しないでください。

8. 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。

- ◆ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。計測器から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。

9. レーザー光が他人や自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。

10. 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。

12. 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。

13. 本機を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。

14. 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

15. 本機をBluetooth®機能が有効な状態で使用する場合、他の機器、システム、航空機、医療機器（例、心臓ペースメーカー、補聴器）との干渉が起きることがあります。また、人間や動物に傷害を与える恐れの可能性は完全に排除することはできません。医療機器、ガソリンスタンド、化学工場、爆発の危険性のある場所、爆風に曝される場所などの近くや航空機内で本機をBluetooth®が有効な状態で使用しないでください。



注 意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたり、けがの原因になります。
2. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
 - ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
3. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ◆ 目の届かない場所で、子供に本機を使用させないでください。
レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
6. 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
 - ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポツシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー・工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシュ電動工具取扱店、ポツシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
ため
に

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

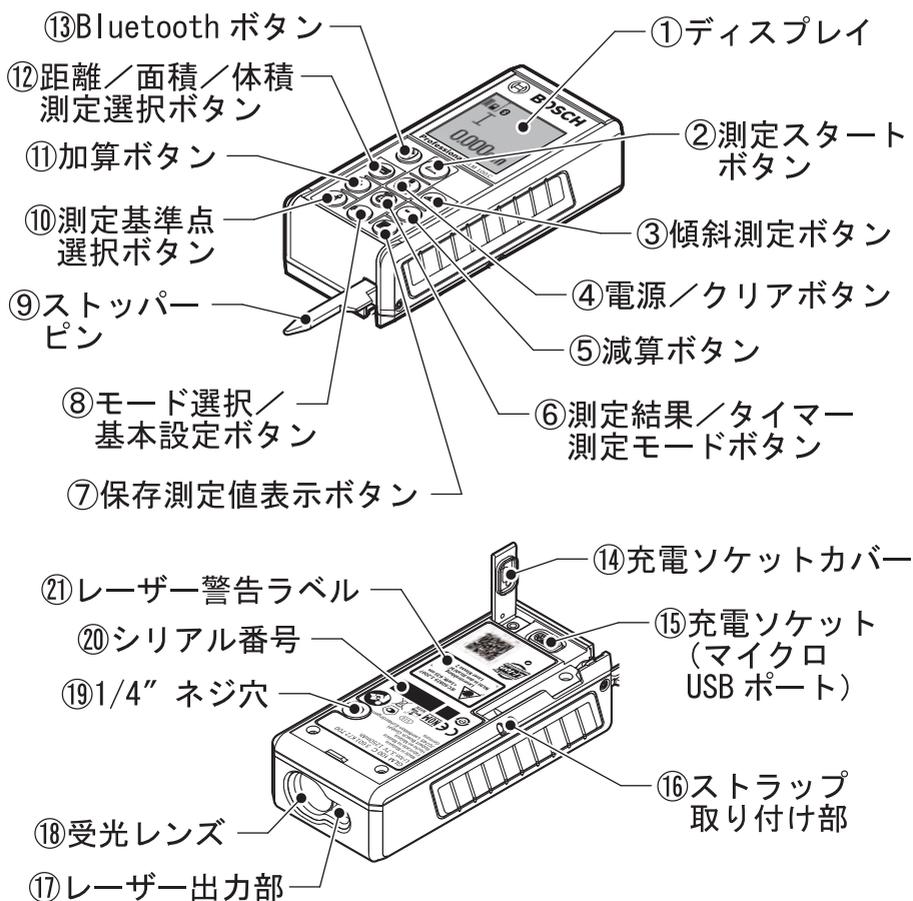
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用途

- ◆ 距離測定、面積測定、体積測定、間接・ピタゴラス測定、連続測定、最小・最大測定、タイマー測定、壁面積測定、傾斜測定
- ◆ データの転送
- ◆ 外部デバイスからのリモコン機能

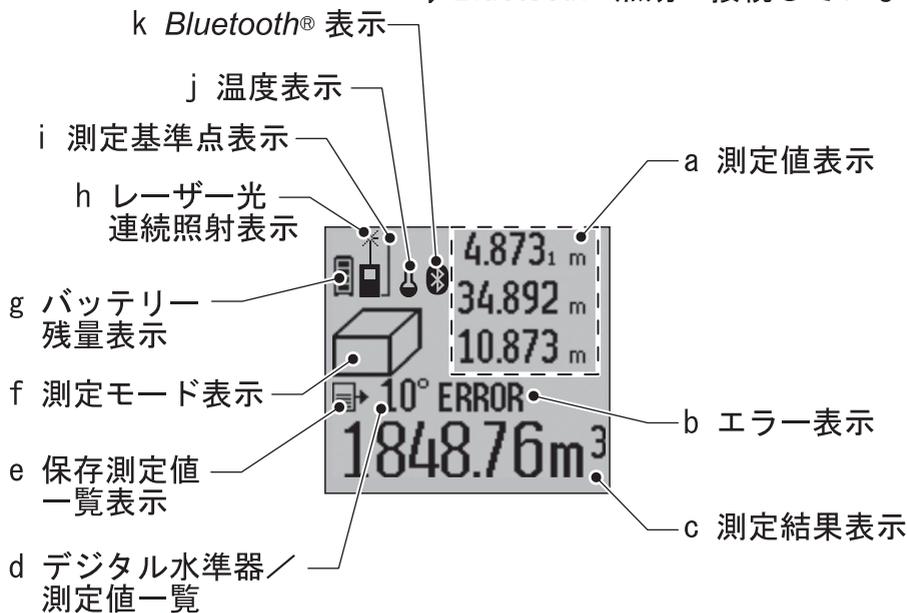
各部の名称



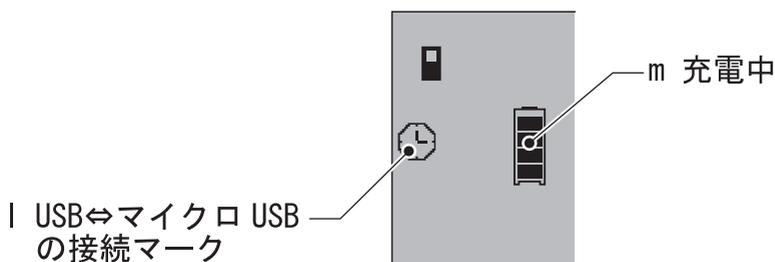
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ

Bluetooth® 有効 = 接続している
Bluetooth® 無効 = 接続していない



本製品にて



(充電中のディスプレイ)

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型 番	GLM100C
測定可能範囲	
距離測定 (最大)	100 m ^{*1}
距離測定 (標準)	0.05~80 m ^{*2}
距離測定 (測定に不利な環境下)	45 m ^{*3}
ピタゴラス測定の傾斜	-60~+60° ^{*4}
傾斜測定	0~360° ^{*4}
測定精度	
距離測定 (標準)	±1.5 mm ^{*2}
距離測定 (測定に不利な環境下)	±2.5 mm ^{*3}
傾斜測定 (標準)	±0.2° ^{*5, *6}
最小測定単位	
距離測定	0.1 mm
傾斜測定	0.1°
使用温度範囲	-10~+50°C (最小・最大測定モード [*] 、連続測定モード: -10~+40°C)
保管温度範囲	-20~+50°C
充電可能温度	+5~+40°C
最大相対湿度	90%
レーザークラス	クラス2
レーザーの種類	635 nm、 <1 mW
レーザー光径 (周辺温度 25°Cの場合)	約6 mm (測定距離 10 m 時) 約48 mm (測定距離 80 m 時)
レーザー光設定精度	
水 平	約2 mm/m ^{*6}
垂 直	約10 mm/m ^{*6}
防じん・防水構造	IP54
寸法	51×111×30 mm
質 量	140 g

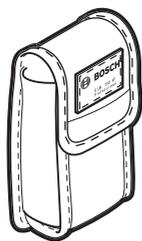
自動電源オフ（測定を行わなかった場合）	
レーザー光	約 20 秒
本体	約 5 分
測定可能回数	約 25000 回 ^{*7}
定格電圧	DC3.7V
バッテリー容量	1.25Ah
充電時間（空→フル充電）	約 3 時間
データ転送	
Bluetooth®	Bluetooth® 4.0 ^{*8} (Classic and Low Energy)
マイクロ USB ケーブル	USB 2.0

つ本
製
い
品
てに

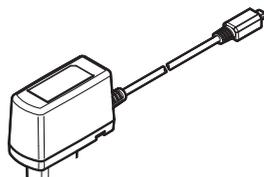
- *1 測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や、使用周囲の明るさにより異なります。測定対象表面からの拡散反射（鏡反射ではない）が確保され、レーザー光と周囲との明るさの差が大きい、屋内、暗い場所などでその測定能力を発揮します。80m 以上の距離については付属のターゲットパネルの使用をお勧めします。20m 以内の距離については測定エラーの原因となるためターゲットパネルを使用しないでください。
- *2 後端基準の測定で、反射率 100%の測定対象物（白塗の壁など）、弱い逆光、使用温度 25℃のとき。偏差は、±0.05mm/m を増減します。
- *3 後端基準の測定で、反射率 10~100%の測定対象物、強い逆光、使用温度 -10℃~+50℃のとき。偏差は、±0.29mm/m を増減します。
- *4 後端基準の場合、最大測定範囲は -60° ~ +60° です。
- *5 傾斜角 45° までの偏差は ±0.01° 増減します。
- *6 25° で測定したとき。
- *7 新品または充電後のバッテリーを使用し、ディスプレイ点灯、**Bluetooth®**、操作音が OFF の場合。
- *8 転送先の機種や OS によっては、省電力 **Bluetooth®**通信ができないことがあります。**Bluetooth®**機器には SPP プロファイルのサポートが必要です。

お客様のレーザー距離計のシリアル番号②は、銘板に記載されています。
(12 ページ「各部の名称」参照)

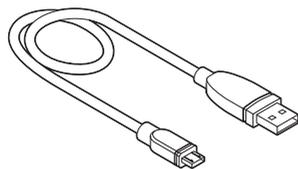
標準付属品



キャリングバッグ



充電器



マイクロUSBケーブル

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリーを準備する

● 充電する

充電器で充電する

- ☞ リチウムイオン電池は電池寿命に関係なくいつでも充電が可能です。また、充電の中断が電池にダメージを与えることはありません。
- ☞ バッテリー残量表示 g の最後の目盛が点滅したら残り測定回数はわずかです。充電してください。バッテリー残量表示 g の外枠が点滅すると、測定を続けることはできません。

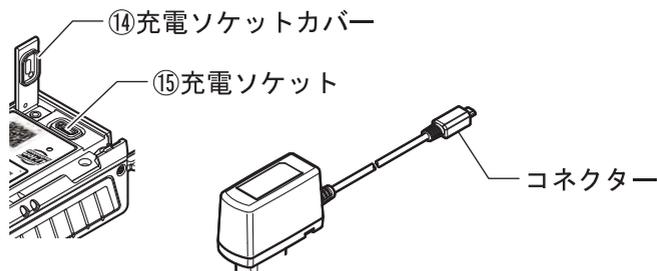


警告

- ◆ レーザー距離計本体の破損防止のため、必ず付属の充電器を使って充電してください。
- ◆ レーザー距離計本体が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧機で充電器を使用しないでください。
- ◆ 本充電器で他社のバッテリーを充電しないでください。
- ◆ 本製品以外のバッテリーを充電しないでください。
- ◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。

本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。上記の状態が解消されると、再始動することができます。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電ソケットカバー⑭を開き、充電器のコネクターを充電ソケット⑮に差し込みます。



充電中はディスプレイ①の中央に、充電中mが表示され、点滅します。
充電が完了すると、充電中mの目盛りが全て点灯します。

3. 充電が終わったら、充電器のコネクターを充電ソケット⑮から抜きます。

使
い
方

- ☞ 充電中は測定および全てのデータ転送はできません。
- ☞ 充電しないときは、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ☞ 充電器は、湿気の多い場所に置かないでください。

● USB ケーブルで充電する

1. 充電ソケットカバー⑭を開き、付属のマイクロ USB ケーブルを充電ソケット⑮に差し込みます。
2. マイクロ USB ケーブルをパソコンなどの USB ポートに差し込みます。
充電中はディスプレイ①の中央に、充電中mが表示され、点滅します。
充電が完了すると、充電中mのメモリが全て点灯します。
3. 充電が終わったら、マイクロ USB ケーブルを抜きます。

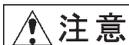
- ☞ 充電中は、測定および **Bluetooth®**通信はできません。
USB 接続で併用できる一部のソフトウェアのみ動作します。
- ☞ USB ケーブルを利用して充電する場合、低速充電になりますので、満充電までの時間が長くなります。

作業する



警告

- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。



注意

- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

- ☞ 測定するときは、受光レンズ⑱およびレーザー出力部⑲に何も被さっていないことを確認してください。
- ☞ 測定中は本体を動かさないでください。（連続モード、傾斜モードは除く）
- ☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影をあてるとレーザー光が見やすくなります。
- ☞ 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ☞ 目標面が斜めになっていると、正しく測定されないことがあります。

1 電源を入れる

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON

「電源/クリアボタン④(Ⓞ)」を押すと電源が入り、“距離測定モード”になります。(レーザー光は照射されません)

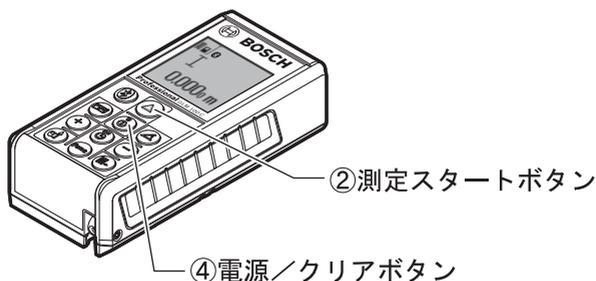
または、「測定スタートボタン②(▲)」を軽く押すと電源が入り、“距離測定モード”になります。(レーザー光は照射されます)

本機が傾斜アダプター-R60 (別売アクセサリ) にセットされているときは、“傾斜測定モード”になります。

スイッチ OFF

「電源/クリアボタン④(Ⓞ)」を電源が切れるまで長押しします。

☞ 測定後5分経過すると、自動的に電源がOFFになります。



2 測定モードを選択する

測定モードは、下記から選択できます。

- 距離測定モード ● 連続測定モード ● 最小・最大測定モード
- 面積測定モード ● 体積測定モード
- 間接・ピタゴラス測定モード (3種)
- タイマー測定モード ● 壁面積測定モード ● 傾斜測定モード

電源を入れた直後は、“距離測定モード”が選択されています。

一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

距離測定モード

距離を測定したいときに選択します。
ディスプレイ①に距離測定マーク“ I ”
が表示されるまで、「距離/面積/体積測
定選択ボタン⑫

面積測定モード

面積を測定したいときに選択します。
ディスプレイ①に面積測定マーク
“ 

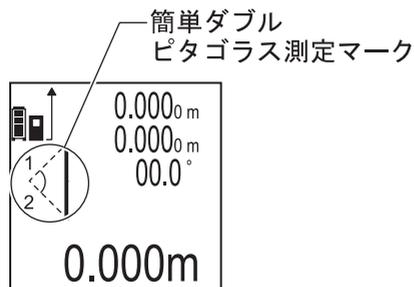
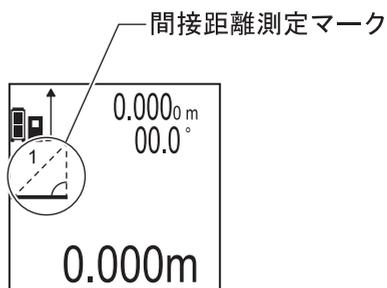
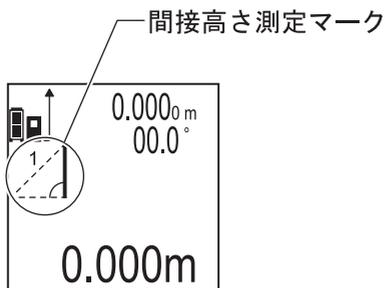
体積測定モード

体積を測定したいときに選択します。
ディスプレイ①に体積測定マーク
“ 

間接・ピタゴラス測定モード

間接的に、長さを算出したいときに選択します。

ディスプレイ①に任意の間接・ピタゴラス測定マーク “”・“”・“”が表示されるまで、「モード選択/基本設定ボタン⑧()」を繰り返し押しします。

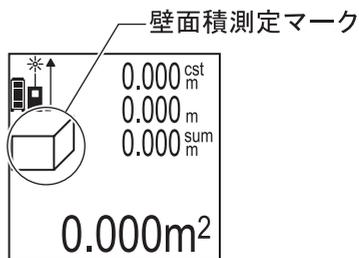


使
い
方

壁面積測定モード

同じ高さである、数面の壁の総面積を測定したいときに選択します。

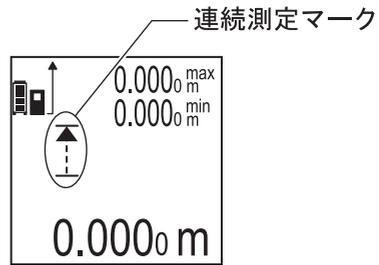
ディスプレイ①に壁面積測定マーク “”が表示されるまで、「モード選択/基本設定ボタン⑧()」を繰り返し押しします。



最小・最大測定モード

一定の測定基準点からの最小距離または最大距離を測定したいときに選択します。

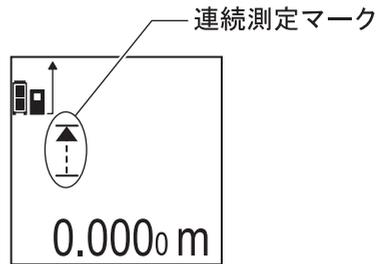
ディスプレイ①に連続測定マーク“ \updownarrow ”が表示されるまで、「モード選択/基本設定ボタン⑧(Func)」を繰り返し押し続けます。



連続測定モード

照準点を基準に、距離を測定したいときに選択します。

ディスプレイ①に連続測定マーク“ \updownarrow ”が表示されるまで「モード選択/基本設定ボタン⑧(Func)」を繰り返し押し続けます。

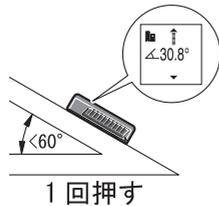


傾斜測定モード

傾斜の角度を測定したいときに選択します。

「傾斜測定ボタン③」を1回押すと、ディスプレイ①に傾斜測定マーク“ \sphericalangle ”が表示されます。

もう1回押すと、本体を横向きにした測定画面に替わります。

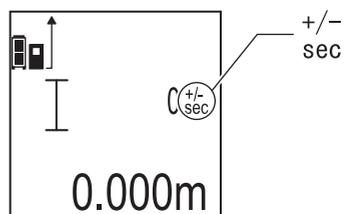


タイマー測定モード

タイマーを設定して距離を測定したいときに選択します。

任意で設定した時間に測定します。

ディスプレイ①に“ \pm sec”が表示されるまで、「測定結果/タイマー測定モードボタン⑥(SET)」を長押しします。

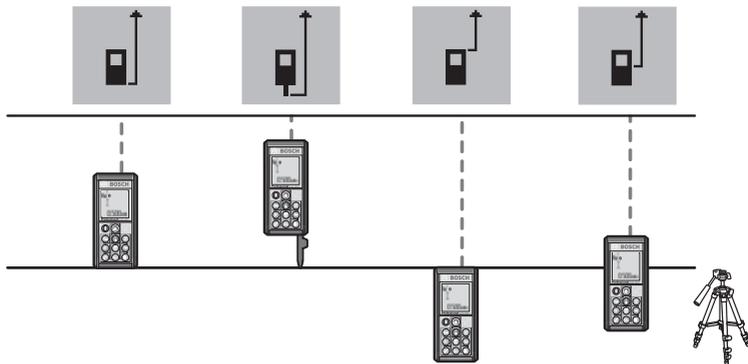


3 基準点を選択する

基準点は“本体の後方端部”“ストッパーピンの後方端部”“本体の前方端部”“1/4”ネジ穴”の4個所で設定できます。

電源を入れた直後は、後方端部が基準点になっています。

一度任意の基準点に設定した後は、基準点を変更するか電源を切らない限り同じ基準点で測定されます。



使
い
方

本体の後方端部（壁に当てる場合など）

ディスプレイ①に“”が表示されるまで、「測定基準点選択ボタン⑩ 」を繰り返し押します。

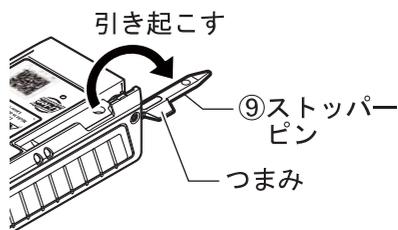
ストッパーピン⑨の後方端部（空間の隅から測定する場合など）

ディスプレイ①に“”が表示されるまで、「測定基準点選択ボタン⑩ 」を繰り返し押します。

ストッパーピン⑨の使用は、空間の隅から測定する場合（室内の対角線）や測定が困難な場所（サッシフレームなど）での測定に適しています。

ストッパーピン⑨は、ピンのつまみを持って引き起こします。

ストッパーピン⑨を収納するときはストッパーピン⑨を本体側へ倒して元の位置に戻します。



 無理にストッパーピン⑨を動かすと破損します。

 ストッパーピンを引き起こしても、測定基準点は自動的に変更されません。

本体の前方端部（テーブルの角から測定する場合など）

ディスプレイ①に“”が表示されるまで、「測定基準点選択ボタン⑩ 

1/4” ネジ穴⑱（三脚を使用して測定する場合など）

ディスプレイ①に“”が表示されるまで、「測定基準点選択ボタン⑩ 

4 基本項目を設定する

操作音、ディスプレイ①の照明、デジタル水準器、ディスプレイ①の表示方向、レーザー光の連続照射、測定単位が設定できます。

 レーザー光の連続照射以外の設定は、電源を切っても記憶されています。

1. 「モード選択／基本設定ボタン⑧ 
2. 「モード選択／基本設定ボタン⑧ 
3. 設定が終わったら、「測定スタートボタン② 

操作音（シグナル音）を設定する

ボタンを押したときやタイマー使用時、測定完了時などに、音を鳴らすことができます。

「加算ボタン①⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、設定を選択できます。

 音が鳴ります

 音が鳴りません

ディスプレイ①の照明を設定する

ディスプレイ①の照明を点灯させるか選ぶことができます。

「加算ボタン①⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、設定を選択できます。

 点灯

 消灯

 自動（周囲の明るさに応じて、自動的に照明が点灯します）

デジタル水準器を設定する

ディスプレイ上に本体の傾斜角度を表示するか選ぶことができます。

「加算ボタン①⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、設定を選択できます。

 傾斜角度が表示されます

 傾斜角度が表示されません

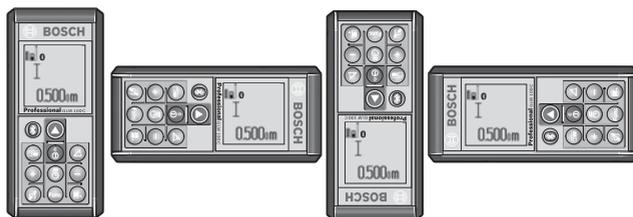
ディスプレイ①の表示方向を設定する

ディスプレイ①の表示方向（上下左右）を自動的に切り替わるように設定することができます。

「加算ボタン⑪⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、設定を選択できます。



表示方向が切り替わります。



表示方向が固定されます。

☞ 傾斜測定モードでは、ディスプレイ①の表示方向の自動切り替え設定はできません。

レーザー光連続照射を設定する

レーザー光を連続照射に設定することができます。

レーザー光を連続照射に設定すると、測定と測定の間も、レーザー光が照射されたままになります。

一度「測定スタートボタン②▲」を押すだけで測定できます。

「加算ボタン⑪⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、設定を選択できます。



レーザー光が連続照射されます



レーザー光が連続照射されません

☞ 電源を切ると、レーザー光連続照射設定は解除されます。

距離の測定単位を設定する

測定単位は“mm”“cm”“m”の3つから選ぶことができます。

「加算ボタン⑪⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、単位が選択できません。

任意の単位を表示させてください。

 面積測定モード、体積測定モード、壁面積測定モードの測定値結果は、“m”単位表示のみとなります。

 測定距離が10mまでの測定値は、1/10mmまで表示します。

角度の測定単位を設定する

測定単位は“°”“%”“mm/m”の3つから選ぶことができます。

「加算ボタン⑪⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押すと、単位が選択できません。

5 測定する



警告

- ◆ レーザー出力部⑰が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

 照射後、約20秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン②▲」を押すと照射されます。

測定が終わると、カチッと音が鳴ります。

 操作音の設定を（鳴る）にしたときには、シグナル音も鳴ります。

測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

デジタル水準器を使用する（デジタル水準器の設定を有にした場合）

本機を水平に保つ目安として、デジタル水準器を使用します。

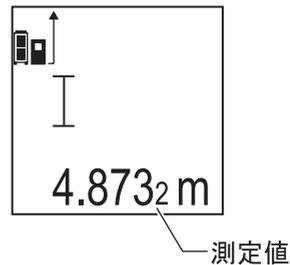
距離を測定する

距離を求めます。

1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、測定値がディスプレイ①の測定結果表示cに表示されます。

測定を繰り返し続けると、測定値表示aに最新の測定結果が上段、中段、下段の順に表示されます。



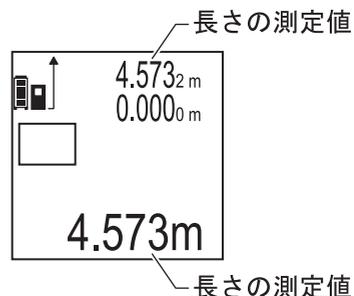
使
い
方

面積を測定する

長さと幅を測定して面積を求めます。

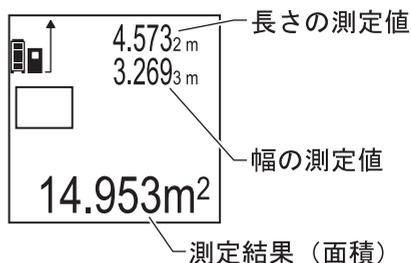
1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して長さを測定します。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、測定値がディスプレイ①の測定値表示aの上段と測定結果表示cに表示されます。



- 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
 - 長さの測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
 - 測定基準点の変更が必要な場合は、「測定基準点選択ボタン⑩」を押して、変更してください。
- 「測定スタートボタン②」を押して幅を測定します。測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 a の中段に表示されます。
面積の測定値は、ディスプレイ①の測定結果表示 c に表示されます。

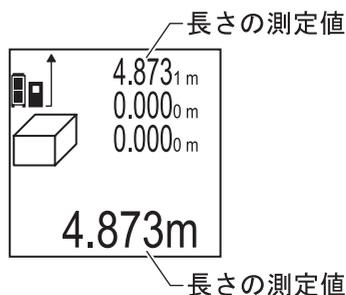


体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。

- 「測定スタートボタン②」を押して、レーザー光を照射させます。
- 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
- 「測定スタートボタン②」を押して長さを測定します。

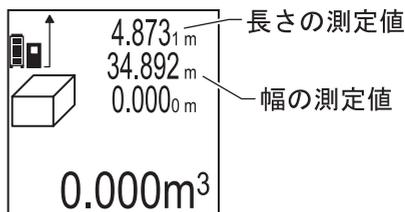
測定が完了するとカチッと音が鳴り、測定値がディスプレイ①の測定値表示 a の上段と測定結果表示 c に表示されます。



4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
 - ☞ 長さの測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
 - ☞ 測定基準点の変更が必要な場合は、「測定基準点選択ボタン⑩ 
」を押して、変更してください。

5. 「測定スタートボタン② 
」を押して幅を測定します。

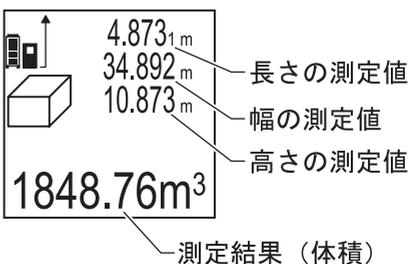
測定が完了するとカチッと音が鳴り、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 a の中段に表示されます。



6. 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。
 - ☞ 幅の測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
 - ☞ 測定基準点の変更が必要な場合は、「測定基準点選択ボタン⑩ 
」を押して、変更してください。

7. 「測定スタートボタン② 
」を押して高さを測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、高さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 a の下段に表示されます。
体積の測定値は、ディスプレイ①の測定結果表示 c に表示されます。



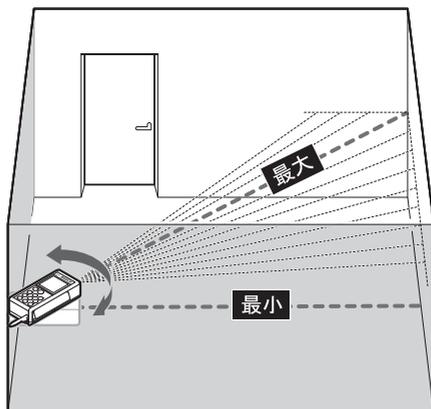
- ☞ 999999m³より大きい値は表示されません。
- ディスプレイ①に“ERROR”が表示されます。
- 測定したい体積を分割して測り、合計してください。

使
い
方

最小距離・最大距離を測定する

最小・最大測定は、測定基準点からの最小距離または最大距離を測ります。例えば、最大測定では、部屋の対角方向距離、最小測定では部屋の垂直方向または水平方向距離が正確に測定できます。

 基本メニュー画面でレーザー光を連続照射する設定になっていないと測定できません。



使
い
方

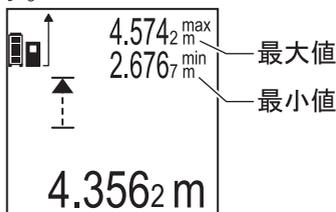
1. 本体を測定基準点方向に向けます。
2. 「測定スタートボタン②」を押して、レーザー光を照射させます。
3. レーザー光を任意の位置に移動させながら、距離を測定します。
4. 「測定スタートボタン②」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

測定中の距離は、測定結果表示 c に表示され、更新されます。

最大値と最小値は、測定値表示 a に表示されます。

現在の測定値が表示されている最大値より大きかったり、最小値より小さかったりすると、最大値・最小値は更新されます。

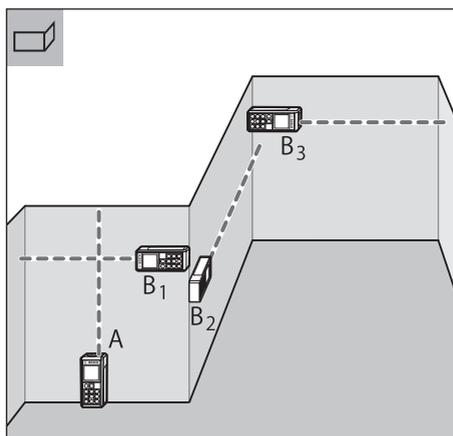
表示されている最大値・最小値は、「電源/クリアボタン④」を押すと消去されます。



壁の総面積を測定する

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定することができます。

例では、部屋の高さAが同じで幅Bが異なる3つの壁面積の合計を求めます。



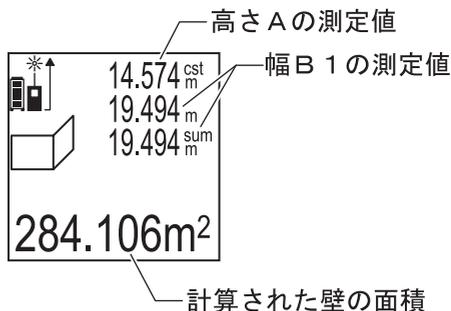
1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を高さAの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、高さAを測定します。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、測定値がディスプレイ①の測定値表示aの上段、中段に表示されます。

4. レーザー光を一面目の壁の幅B1の目標面に当てます。
 - ☞ 高さAの測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
 - ☞ 測定基準点の変更が必要な場合は、「測定基準点選択ボタン⑩(■)」を押して、変更してください。

5. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、幅B1を測定します。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、幅B1の測定値がディスプレイ①の測定値表示aの中段、下段に表示されます。壁の面積は、ディスプレイ①の測定結果表示Cに表示されます。

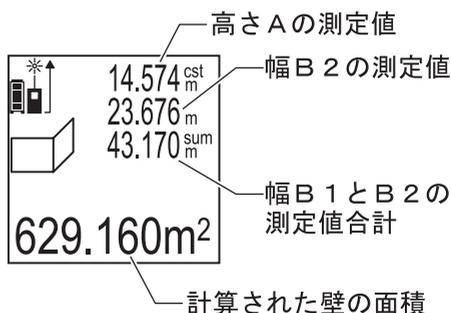


6. 続けて、レーザー光を二面目の壁の幅B2の目標面に当てます。

- ☞ 一面目の壁の測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
- ☞ 測定基準点の変更が必要な場合は、「測定基準点選択ボタン⑩(■)」を押して変更してください。

7. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、幅B2を測定します。

測定が完了すると、カチッと音が鳴り、幅B2の測定値がディスプレイ①の測定値表示aの中段に表示されます。



測定値表示aの上段には、高さAの測定値、下段には幅B1とB2の測定値の合計が表示されます。壁の面積は、ディスプレイ①の測定結果表示Cに表示されます。

8. 同様の手順で数面の壁の総面積を測定できます。

- ☞ 壁面積測定をやり直したいときは、「電源/クリアボタン④(⓪)」を3回押します。

9. 「測定スタートボタン②(▲)」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

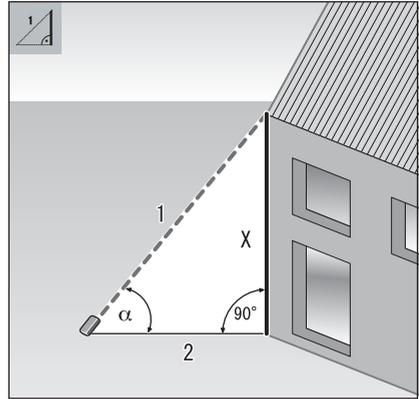
間接・ピタゴラス測定

何らかの障害物にレーザー光が遮られ、直接の測定が行えない場合や、反射に適した対象物がない場合、辺測定することで、値を出すことができます。正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

間接高さ測定

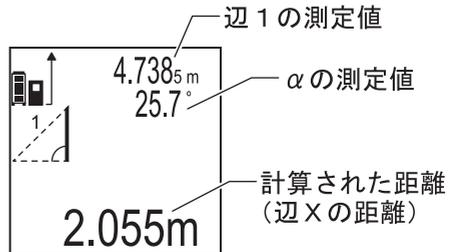
右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

辺2と辺Xは直角である必要があります。



1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、辺1の距離を測定します。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、辺1の測定値がディスプレイ①の測定値表示aの上段に、傾斜角度 α の測定値が中段に表示されます。辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示cに表示されます。

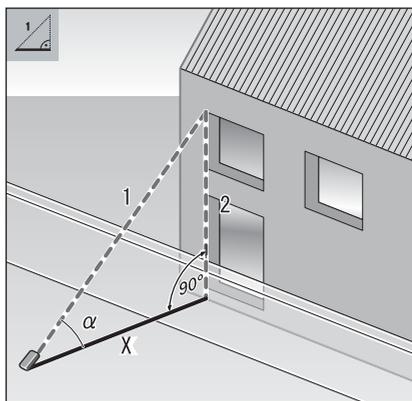


測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

間接距離測定

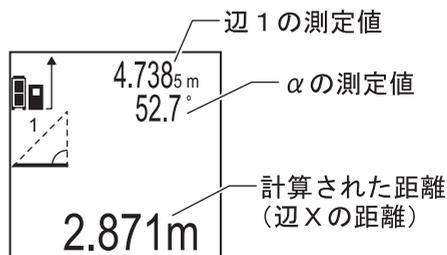
右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

辺2と辺Xは直角である必要があります。



1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
本機を距離を求める方向に水平に置き、基準を中心に本機を傾けます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、辺1の距離を測定します。

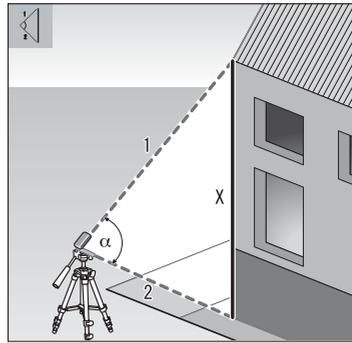
測定が完了するとカチッと音が鳴り、辺1の測定値がディスプレイ①の測定値表示aの上段に、傾斜角度 α の測定値が中段に表示されます。辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示cに表示されます。



測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

簡単ダブルピタゴラス測定

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1、2を測定します。



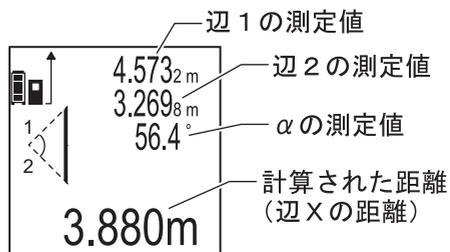
1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、辺1の距離を測定します。

測定が完了するとカチッと音が鳴り、測定値がディスプレイ①の測定値表示aの上段に表示されます。

4. 続けて、レーザー光を辺2の目標面に当てます。
☞ 辺1の測定が終わっても、レーザーは照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、辺2の距離を測定します。
☞ 辺1を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。
測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

辺2の測定が完了するとカチッと音が鳴り、辺2の測定値がディスプレイ①の測定値表示aの中段に、傾斜角度 α の測定値が下段に表示されます。

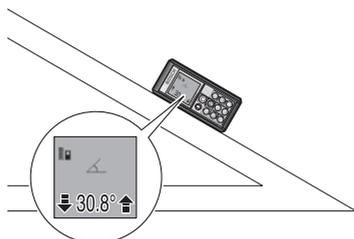
辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示cに表示されます。



測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

傾斜を測定する

1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して傾斜角度を測定します。
 - ☞ 「傾斜測定ボタン③」を押すことにより、ディスプレイ①の表示が90°回転し、本機を横に倒して測定できます。
 - ☞ 測定中に傾斜測定マーク表示が点滅するときは、本機を傾けすぎています。
2. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、測定値を確定します。
測定値はメモリに記憶されます。



☞ 5分間角度を変えないと、測定器は自動的にスイッチが切れます。

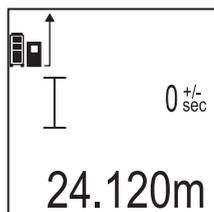
タイマーを使用して測定する

1. ディスプレイ①に“ $\frac{+}{-}$ sec”が表示されると、レーザー光が照射され、自動的にタイマー時間がカウントダウンされます。

タイマー時間（遅延時間）を設定するには、タイマー時間がカウントダウンしている間に「加算ボタン①⊕」または「減算ボタン⑤⊖」を押して設定します。

時間は、ディスプレイ①の測定値表示aに表示されます。

1～60秒で設定できます。



2. タイマーが作動し設定時間が経過すると測定され、カチッと音が鳴り、測定結果がディスプレイ①の測定結果表示cに表示されます。

☞ 操作音が鳴るように設定してある場合、設定時間が減っていく毎秒ごとと、測定が完了したときにシグナル音が鳴ります。

連続測定する

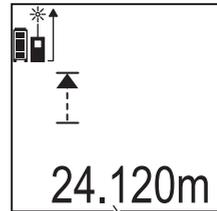
照準点を基準としながら距離を測ります。
連続測定は、約5分間測定し続けます。

1. 「測定スタートボタン②(▲)」を押して、レーザー光を照射させます。

2. レーザー光を目標面に当てま
す。

測定値は0.5秒ごとに更新さ
れます。

ディスプレイ①に希望する距
離が表示されるまで、本機を
移動させてください。



測定値

☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン②(▲)」を押して
てください。

レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ①に表示されま
す。

再度、「測定スタートボタン②(▲)」を長押しすると、連続測定を新
たに開始します。

☞ 連続測定は、5分後自動的に解除されます。

自動的に解除された場合は、最終の測定値がディスプレイ①に表示され
たままになります。

測定値を削除する

「電源/クリアボタン④(⓪)」を押すと、最新の測定値が削除されます。

「電源/クリアボタン④(⓪)」を繰り返して押すと、最新の測定値から順にさ
かのぼって削除されます。

☞ 壁面積測定モードでは、「電源/クリアボタン④(⓪)」を1回押すと、最新の測
定値が削除され、2回押すと測定した壁の幅の測定値(B1, B2, B3...)がすべて
削除されます。

3回押すと測定した壁の高さの測定値(A)が削除されます。

保存された測定値を表示する

本機は、自動的に最新 50 件の測定値とその計算結果を保存しています。

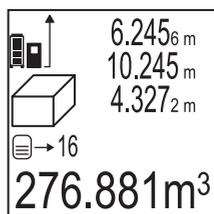
保存された測定値は、「保存測定値表示ボタン⑦

保存測定値一覧表示 e (→16) の右側の数字は、保存されている測定値の数を表しています。(右図の場合、現在 16 件の値を保存しています)

「保存測定値表示ボタン⑦

保存された測定値の表示を中止するときは、ボタンのいずれか(「保存測定値表示ボタン⑦

保存された測定値が 50 件を超えると、1 件目に保存された値が消去され、最新の値が 50 件目に保存されます。



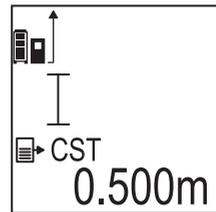
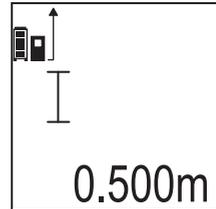
 “壁面積測定モード”では総面積値、“最小・最大測定モード” “連続測定モード”では最小値と最大値が保存されています。

削除したくない測定値を保存する

保存できる測定値は距離のみです。

保存できる測定値は 1 件です。

1. 距離を測定します。
2. ディスプレイ①に保存したい測定値が表示されていることを確認します。
3. 「保存測定値表示ボタン⑦」を 1 秒以上長押しします。
4. ディスプレイ①の測定結果表示 C（保存したい測定値）の左上に“CST”が表示され、保存されます。保存した測定値は「保存測定値表示ボタン⑦」を押すと表示されます。



5. 保存した測定値を削除したい場合は、「保存測定値表示ボタン⑦」を押し測定値を表示させ、「電源/クリアボタン⑦」を押します。

保存された測定値を削除する

削除したい測定値を表示させ、「電源/クリアボタン④⑥」を押すと削除されます。

保存されているすべての測定値を削除したい場合には、「保存測定値表示ボタン⑦⑧」と「電源/クリアボタン④⑥」を同時に押します。

壁面積測定モードでは、「電源/クリアボタン④⑥」を 1 回押すと、最後の測定値（総壁面積と長さ）が消去され、再度押すとすべての測定長さが消去されます。さらに（3 回目）を押すと高さが消去されます。

6 測定値を加算・減算する

測定値の加算

☞ 加算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

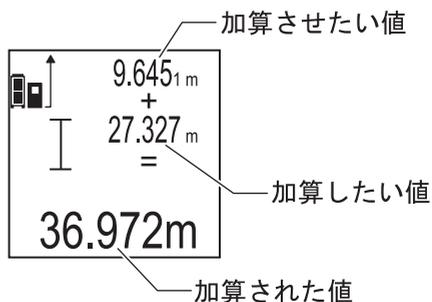
☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。

保存測定値+保存測定値

保存測定値+測定値

測定値+測定値

1. 保存されている値と同じ測定値モードが選択されているか、確認します。
モードが違っている場合は、同じモードにしてください。
2. 加算させたい値を測定するか、保存されている測定値から表示させます。
3. 「加算ボタン⑪⊕」を押します。2項で表示した値が測定値表示 a の上段に、その下に“+”が表示されます。
4. 加算したい値を測定するか、保存されている測定値から表示させます。
5. 「測定結果/タイマー測定モードボタン⑥」を押します。加算された値が測定結果表示 c に表示され、4項で表示した値が測定値表示 a の下段に表示されます。



☞ 加算された値にさらに加算することができます。
3項～5項を繰り返して加算してください。

測定値の減算

☞ 減算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

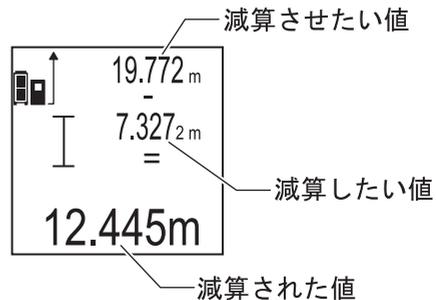
☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。

保存測定値－保存測定値

保存測定値－測定値

測定値－測定値

1. 保存されている値と同じ測定値モードが選択されているか、確認します。
モードが違っている場合は、同じモードにしてください。
2. 減算させたい値を測定するか、保存されている測定値から表示させます。
3. 「減算ボタン⑤⊖」を押します。
2項で表示した値が測定値表示 a の上段に、その下に “-” が表示されます。
4. 減算したい値を測定するか、保存されている測定値から表示させます。
5. 「測定結果／タイマー測定モードボタン⑥」を押します。
減算された値が測定結果表示 c に表示され、4項で表示した値が測定値表示 a の下段に表示されます。



Bluetooth®通信

本機は、**Bluetooth®**インターフェースを備えたモバイル端末・機器に、無線通信でデータ転送することができます。

Bluetooth®接続に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ (<http://www.bosch.co.jp>) をご覧ください。

モバイル端末・機器用ボッシュソフトウェアは、アップルストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

1. 本機の「**Bluetooth®**ボタン⑬⑭」を押します。
ディスプレイの **Bluetooth®**表示 k が無効  状態で表示されます。
2. 通信先のモバイル端末・機器の **Bluetooth®**インターフェースが有効になっていることを確認し、ボッシュソフトウェアを起動して **Bluetooth®** を認識させます。
モバイル端末・機器との接続が確立すると、**Bluetooth®**表示 k が有効  に変わります。
3. ボッシュソフトウェアで作業します。
4. 「**Bluetooth®**ボタン⑬⑭」を再度押すと、**Bluetooth®**接続が切れ、**Bluetooth®**表示 k が消えます。
または「電源/クリアボタン④⑤」を長押しして本機の電源を切ると、**Bluetooth®**接続も切れます。

-  接続の際に有効なレーザー距離計が複数台見つかった場合は、モバイル端末・機器側で1台を選択してください。有効な距離計が1台しか見つからなかった場合は、自動的にそれが接続されます。
-  最初の接続の際に、本機のPINコード入力を要求されることがあります。“0000”と入力してください。
-  「**Bluetooth®**ボタン⑬⑭」を押した後、5分以内に接続できなかった場合は、自動的に **Bluetooth®**表示 k が消えます。
-  航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。

● USB ケーブル通信

マイクロ USB ケーブルを介して、PC にデータ転送を行うことができます。
PC 側に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ
(<http://www.bosch.co.jp>) をご覧ください。
最新のソフトウェアも、ボッシュホームページで入手できます。

1. 充電ソケットカバー⑭を開き、充電ソケット⑮にマイクロ USB ケーブルを差し込みます。
2. PC の USB ポートにマイクロ USB ケーブルを差し込みます。
3. PC のボッシュソフトウェアを起動します。
レーザー距離計が PC に認識されます。
4. ボッシュソフトウェアで作業します。
5. 作業が終了したら、通常の USB 機器と同様に取り外します。

 USB ケーブルを接続すると、同時にバッテリー充電（低速）も行われます。

Bluetooth®のワードマークと **Bluetooth®**のロゴは Bluetooth SIG Inc. の登録商標であり、Robert Bosch Ltd. は商標使用の許諾を得てこれらを使用しております。

● 距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶついたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

☞ 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、1~10m 程度の距離を決めます。
(例えば、室内幅やドアの開孔口など)
対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。
2. 1項で決めた距離を、10回続けて測定します。
測定値の許容誤差は、±2mm 以下です。

使
い
方

● 傾斜測定の精度チェックおよび校正

定期的に傾斜測定の精度チェックを行ってください。

1. 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



2. 同じ場所で本機を 180° 回転させ、再度傾斜を測定します。



3. 本機を横向きにして同様に測定します。



☞ 測定値の許容誤差は 0.3° 以下です。

4. 測定値の差が 0.4° 以上の場合は、校正が必要です。
傾斜測定ボタン③を長押しして、校正画面を表示させ、ディスプレイに表示される指示に従って校正してください。

- ①本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。（ディスプレイ：CAL1）



- ②ディスプレイが CAL2 になったことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて再度傾斜を測定します。



- ③ディスプレイが CAL3 になったことを確認して、同じ場所で本機を横向きにして、再度傾斜を測定します。



- ④ディスプレイが CAL4 になったことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて、再度傾斜を測定します。



完了



困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
温度表示 j が点滅していて、測定ができない	本体が使用温度範囲（-10℃～+50℃）になっていない ※連続測定モード、最小、最大モードの使用温度範囲は、-10℃～+40℃	本体が使用温度範囲になるまで待つ
バッテリー残量表示 g が点滅し、測定が行えない	バッテリー残量が少なすぎる	バッテリーを充電する
『ERROR』が表示される	レーザー光と対象物間の距離が近すぎる	レーザー光と対象物の間を 5cm 以上離す
	対象物からの反射が強すぎる（鏡等）または弱すぎる（黒地の布等） 周囲が明るすぎる	ターゲットパネル（別売）を使用する
	レーザー出力部⑩または受光レンズ⑪が曇っている （急激な使用環境温度の変化などが原因）	やわらかい布でレーザー出力部⑩または受光レンズ⑪をふく
	対象物へのレーザー光入射角が鋭角すぎる	対象物へのレーザー光入射角をひろげる

症 状	原 因	対 処
ERORR が表示される	測定値の加算／減算を行う際に、それぞれの測定値単位が異なっていた	測定単位が同じもので、加算・減算し直す (測定値の加算／減算は同一の測定単位でのみ可能です)
	測定結果または計算結果が±999999m、m ² 、m ³ を超えた	測定面を分割して測定する
測定結果が不正確である	測定対象物から適切な反射が得られない(水面、ガラスなど)	照準対象面に何らかの覆いをする
	レーザー出力部⑰または受光レンズ⑱に何かが被さっている	レーザー出力部⑰または受光レンズ⑱を覆っている障害物を取り除く
	測定基準点が間違っている	測定基準点を確認して、正しく選択する
	レーザー光が対象物に当たっていない	レーザー光を対象物に確実に当てる
“>60°” または “<-60°” が表示される	傾斜測定範囲を超えている ピタゴラス測定の測定範囲は -60° ~ +60°	測定範囲内で測定する

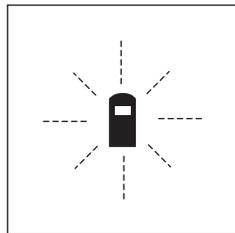
困ったときは

症 状	原 因	対 処
“CAL” と “ERROR” が表示される	傾斜測定の校正が正しい順序、または正しい位置で行われなかった	再度校正する
	校正に使用した面が、水平または垂直でなかった	水平または垂直な面で、再度校正する 必要に応じて、校正前に水準器などで面を検査する
	ボタンを押すときに、本体が動いたり傾いたりした	ボタンを押すときに、本体をしっかり押さえ、再度校正する
充電中に “ERROR” が表示される	充電器のコネクタが正しく接続されていない	充電器のコネクタを正しく接続する
充電時間が長過ぎる または充電器を使用しているのに低速充電中 n が表示される	充電電流が低すぎる	Bosch 純正充電器を使用する
充電中に “ERROR” が表示され、バッテリー残量表示 g が点滅している	バッテリーの異常	修理を依頼する
Bluetooth が有効にならない	バッテリー残量が少ない	本機のバッテリーを充電する

症 状	原 因	対 処
Bluetooth 接続ができない	Bluetooth 接続に失敗する	<p>モバイル端末・機器のソフトウェアをチェックする</p> <p>本機とモバイル端末・機器のそれぞれでBluetoothが有効となっているかチェックする</p> <p>モバイル端末・機器に負荷がかかり過ぎていないかチェックする</p> <p>本機とモバイル端末・機器の距離を近くする</p> <p>本機とモバイル端末・機器の間にある障害物や電磁障害を取り除く。</p>
USB ケーブルでのデータ転送ができない	ソフトウェアのエラー	PC上でソフトウェアが正しく動作しているが確認する (Bosch ホームページ参照)
	マイクロ USB ケーブルの異常	<p>マイクロ USB ケーブルが正しく差し込まれているかチェックする</p> <p>マイクロ USB ケーブル自体に損傷がないかチェックする</p>
表示が変わらずにそのまま残っている またはボタンを押した後、本機が予期せず作動する	ソフトウェアのエラー	測定スタートボタン②と電源/クリアボタン④ボタンを押して、ソフトウェアをリセットする

困ったときは

本機は毎回の測定中にセルフチェックが行われています。
故障が確認されるとディスプレイ①で左記のマークが点滅します。この場合、または上記(表中)の措置をとってもエラーがなくなるならない場合には、お買い求めの販売店または弊社コールセンターへご相談ください。



コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

修理を依頼するときは

- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。なお、この製品には保証書がついておりますので、現品とともにご掲示ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、必ず付属のキャリングバックに収納してください。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れしないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ^⑩は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

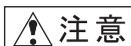
廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

使用済みバッテリーの取り外し



◆ 電動工具を廃棄するとき以外は、絶対に本体を分解しないでください。

◆ バッテリーを取り出す前に、本体が作動しないことを確認してください。

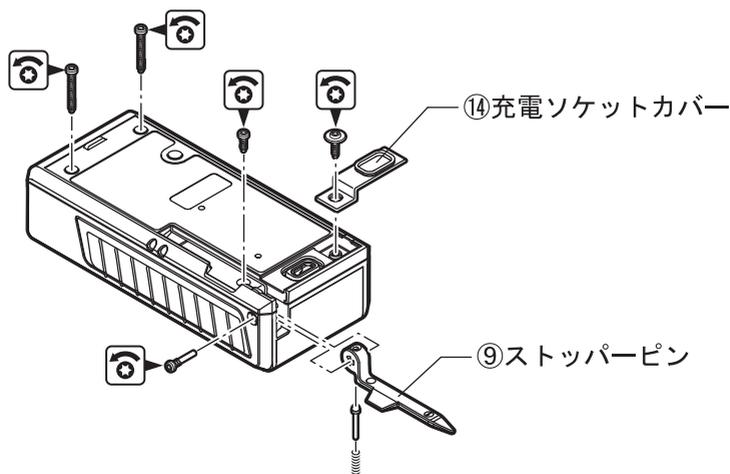
作動するときは、レーザー光を連続照射させるなどして、バッテリーを使い切ってください。

☞ 取り外したバッテリーは、分解しないでください。

☞ ショート防止のため、バッテリー端子に絶縁テープ（ビニールテープなど）を貼ってください。

1. 市販のトルクスレンチ（サイズ：T6）を使って、ハウジング固定ネジ5本を外します。

ハウジング固定ネジを外すと、ストッパーピン⑨、充電ソケットカバー⑭も外れます。



保
お
手
入
れ
と
管

- ハウジングを開きます。
- バッテリーを持ち上げ、バッテリーに接続されているリード線を本体から外します。
- バッテリーを取り出します。

